

前田委員（自民議連）

令和2年3月11日  
教育長答弁実録  
（教育委員会）

（問）教職員の事務負担の増加とICT活用能力の向上について

学校での校内通信ネットワークの整備により、操作の習得や授業改善、機器の設置準備、ネットワークに不具合があったときの対応など、実際に対応するのは教職員になると思うが、この教職員の負担の増加について、どのように考えているのか、また、学校現場で使うからには、教職員自身が生徒以上にICT活用能力に優れていないといけませんが、現状でも多忙な教職員に対して、どのようにICT活用能力を習得させるのか、併せて教育長に伺う。

（答）

ICT機器の整備による教職員の事務負担を軽減するため、ICTを活用した授業の教材づくりのサポートや学校のICT機器のメンテナンス等のために各学校を巡回するICT支援員を4月から配置いたします。

また、各学校からのICTの利活用やICT機器のトラブル等の問い合わせに対し随時対応するコールセンターも設置することとしております。

教職員のICT活用能力の向上に係る取組といたしましては、来年度以降、

- ・ 各学校のICT活用の取組をマネジメントする管理職対象の研修
- ・ 校内でICT活用の中心的な役割を担う推進教員対象の研修
- ・ 各学校において、推進教員が中心となり実施する全教員対象の校内研修を計画しております。

これらの研修の実施に当たりましては、学校の教育活動にも配慮しつつ、効果的かつ効率的に進めてまいります。